

第4回 サステナブルスチールセミナー 開催のご案内

鉄鋼業界のカーボンニュートラルに向けた取り組み

開催目的： 日本鉄鋼連盟では「カーボンニュートラルの実現」「循環型社会の構築」「自然との調和」などに貢献する鋼材の優れた環境性能をご理解いただくため、建設に携わる方々を中心として広く皆様を対象に「サステナブルスチールセミナー」を開催しております。

今回は、鉄鋼業界の環境への取り組みに関して、グリーンスチールやグリーン購入法、鉄スクラップなどをキーワードに、別紙プログラムの通り講演を行います。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2025年10月16日（木） 13：30～16：45

開催方法：ライブ配信（10/16）+アーカイブ配信（10/23～11/6）

受講対象：ゼネコン、設計会社、施主、商社などの鉄鋼ユーザー、研究者、鉄鋼メーカーなど（対象制限なし）

受講料：無 料

申込方法：鉄連ウェブサイト(<https://www.jisf.or.jp>)

各種ご案内 > 催し物のご案内 > 第4回サステナブルスチールセミナー
からお申込みください。

申込締切：2025 年 10 月 14 日（火） 23:59



後 援：（国研）土木研究所、（国研）建築研究所、

（予定）（公社）土木学会、（公社）地盤工学会、（公社）日本建築家協会、
（公社）日本建築士連合会、（一財）日本建築センター
（一社）鋼管杭・鋼矢板技術協会、（一社）サステナブル経営推進機構、
（一社）全国建設業協会、（一社）全国鐵構工業協会、（一社）鉄骨建設業協会、
（一社）日本橋梁建設協会、（一社）日本建設業連合会、（一社）日本建築学会、
（一社）日本建築構造技術者協会、（一社）日本建築士事務所協会
（一社）日本鋼構造協会、（一社）日本鉄鋼協会、（一社）日本溶接協会

- 注意事項：（1）本セミナーは、土木学会CPD制度ならびに建築士会CPD制度の認定プログラムです。
- （2）土木学会以外の団体にCPD受講証明書を提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。
- （3）CPDの認定対象はライブ配信の受講者のみとなります。
- （4）日本鉄鋼連盟では、株式会社トライに、本セミナーの運営業務を委託しております。個人情報の取扱いについては本セミナー以外の目的には使用しない旨、同社と覚書を交わしております。

以 上

主催 一般社団法人日本鉄鋼連盟

第4回 サステナブルスチールセミナー

鉄鋼業界のカーボンニュートラルに向けた取り組み

日時：2025 年 10 月 16 日（木）13:30～16:45 オンライン開催（ライブ配信+アーカイブ配信）

13:30～13:35	開会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 新田 和明
13:35～14:25	-講演- 日本鉄鋼業におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 副委員長 平川 智久 日本鉄鋼連盟は、我が国の 2050 年カーボンニュートラルという大きな方針の下、その実現に向け着実に取り組みを進めている。また、その取り組みの過程においても低炭素鋼材を市場へ供給すべくマスマバランス方式を適用したグリーンスチールに関するガイドラインを整備し、会員各社は既にグリーンスチールの供給を開始している。本講演ではこれらの取り組みの内容と現在の状況を紹介するとともに、鉄のリサイクル効果を反映した鉄鋼製品の LCI 手法の考え方も解説する。
14:25～15:05	-講演- 鉄鋼業のGX推進とグリーン鉄市場創出に向けた取組 経済産業省 製造産業局 金属課 総括補佐 大下 慶 鉄鋼業は、温室効果ガスの排出削減が困難な産業の一つであり、脱炭素化社会実現のためには、GX の推進を通じた排出量の削減が必要不可欠である。本講演では、昨年 10 月に立ち上げた「GX 推進のためのグリーン鉄研究会」において取りまとめた内容について紹介するとともに、本年 4 月に開催されたフォローアップ会合について解説する。
15:05～15:20	休憩
15:20～16:00	-講演- カーボンニュートラルを巡る最近の政策動向 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 総括補佐 澁谷 潤 我が国は、2050 年カーボンニュートラル実現に向け、本年 2 月に新たな排出削減目標を含む地球温暖化対策計画や GX2040 ビジョン等を策定し、脱炭素と経済成長の同時実現を目指して取組を進めている。本公演では、こうした最近の政策動向を俯瞰するとともに、グリーンスチールを含むグリーン製品の需要創出に向けた環境省の取組についても紹介する。
16:00～16:40	-講演- 鉄スクラップを使いこなすための課題と展望 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授 醍醐 市朗 鉄スクラップを用いて様々な鋼材を生産できる鉄鋼材の循環システムが望まれる。しかしながら、鉄スクラップを用いて高機能材料を生産するには課題がある。我々の研究から、課題は、鉄スクラップには不純物元素が意図せず混入することと、その濃度のばらつきが大きいことと明らかにした。さらに、我々の研究グループで検討している、鉄スクラップを原料とし化学組成のばらつきを許容して、必要な機能を発現する材料生産プロセスの可能性を紹介する。
16:40～16:45	閉会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 新田 和明

（都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります）

（敬称略）

問合せ先 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ
TEL：(03) 3669-4815 E-mail：sss@jisf.or.jp